

名古屋市 蓬左文庫

TEL (052) 935-2173
〒461-0023 名古屋市東区徳川町1001
ホームページ <https://housa.city.nagoya.jp/>



蓬左文庫は、尾張徳川家の旧蔵書を引き継いだ文庫です。蔵書数は約12万点。「河内本 源氏物語」など7件154点の重要文化財、尾張徳川家初代義直が徳川家康の遺品として譲り受けた駿河御読本、歴代藩主が収集した書物を中心に、全国的にも優れた古典籍を収蔵・公開しています。

閲覧室では、蔵書や絵図画像の閲覧、レファレンスや複写サービスに応じています。また、国の登録有形文化財に登録されている旧書庫棟を利用したエントランスホールでは、かつての書庫の様子を再現し、展示室では徳川美術館とともに、大名文化や古典籍をテーマにした展覧会を開催しています。



■閲覧室／入室無料 館外貸し出しはいたしません。

【開 架 図 書】午前9時30分～12時、午後1時～5時

【開 架 図 書】午前9時30分～午後5時

【複写サービス】保存など支障のない範囲で、CD-Rからのプリントアウトまたはマイクロフィルム複写などの方法により行います。

閲覧室内の書架(15,000冊収容)にある参考図書は自由にご覧いただけます。

書庫内の資料は、検索・閲覧システムを使って閲覧請求ができます。

徳川美術館・蓬左文庫共通

■開館時間／午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

■休 館 日／月曜日(祝日・振替休日の場合は翌平日)

年末年始:2024年12月16日(月)～2025年1月3日(金)

※GW期間(5月3日(金)～5月6日(月・振替休))は開館、翌5月7日(火)は休館

※8月12日(月・振替休)は開館、翌8月13日(火)臨時開館

観覧料 (一般)1,600円 (高・大生)800円 (小・中生)500円

※20名様以上の団体は一般200円、その他100円割引 ※毎週土曜日、小・中・高生入館無料

※ 観覧料は変更となる場合があります。詳しくは各施設にお問い合わせください。

徳川園

TEL (052) 935-8988
〒461-0023 名古屋市東区徳川町1001
ホームページ <https://www.tokugawaen.aichi.jp/>



徳川園は池泉回遊式の日本庭園で、清流が滝から溪谷を下り海に見立てた池へと流れるありさまは、日本の自然景観を象徴的に凝縮しています。さらに、高低差の大きな地形、既存のまま取り入れた樹林、立体的に迫る大きな岩組みが特徴で、変化に富んだ景観を大胆に切り替える手法により武家社会の「豪快さ」を表現しています。また、新緑や紅葉、牡丹や花菖蒲の花々など四季を通じて楽しめる庭となっています。

■開園時間／午前9時30分～午後5時30分(入園は午後5時まで)

■休 園 日／月曜日(祝日の場合は翌平日)・年末年始(12月29日～1月1日)

■入 園 料／一般 300円 中学生以下無料

徳川美術館・蓬左文庫共通観覧 一般 1,750円※

※ 一般の入園料(徳川美術館・蓬左文庫共通観覧)は変更となる場合があります。詳しくは各施設にお問い合わせください。

ガーデンレストラン 徳川園 052-932-7887

日本料理 宝善亭 052-937-0147



徳川美術館

TEL (052) 935-6262
〒461-0023 名古屋市東区徳川町1017
ホームページ <https://www.tokugawa-art-museum.jp/>



徳川美術館は、徳川家康の遺品を中心に、尾張徳川家初代義直(家康9男)以下代々の遺愛品、いわゆる「大名道具」1万件余りを取りめる美術館です。国宝「源氏物語絵巻」をはじめ、国宝9件、重要文化財59件など、種類の豊富さ、質の高さ、保存状態の良さを誇ります。本館は国の登録有形文化財に登録されています。

【名品コレクション展示室】約1ヶ月毎に展示作品が替わります

尾張徳川家伝来の名品を中心に、大名の生活と文化を紹介する展示室です。尾張徳川家当主の公的生活の場であった名古屋城二之丸御殿を、部分的ながらも時代考証に基づいて、そのまま復元してあります。美術品とそれらが使われた空間との一体的な体系展示によって、美術品単体の美にとどまらず、日本の伝統美である「構成の美」あるいは「取り合わせの美」を鑑賞することができます。



交通のごあんない

なごや観光ルートバス「メーグル」

名古屋駅バスターミナル11番のりば

名古屋駅発着で平日30分～1時間に1本、土・日・休日は20分～30分に1本運行
「徳川園・徳川美術館・蓬左文庫」停留所下車徒歩約1分

名古屋駅より

【市バス】名古屋駅バスターミナル10番のりば 基幹2系統「猪高車庫」ゆき
「徳川園新出来」停留所下車(所要時間約30分)徒歩約3分

【名鉄バス】名鉄バスセンター4番のりば 「三軒家」方面ゆき
「徳川園新出来」停留所下車(所要時間約30分)徒歩約3分

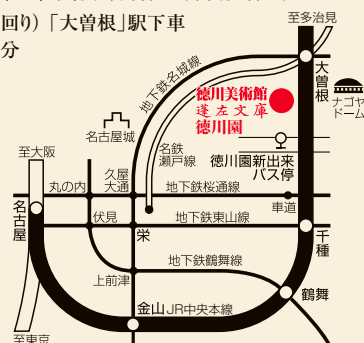
【J R】JR中央本線「多治見」方面ゆき「大曽根」駅下車
南出口から徒歩約10分

【地下鉄】桜通線「徳重」ゆき、「車道」駅下車1番出口より徒歩約15分

栄より

【市バス】栄バスターミナル(オアシス21)3番のりば 基幹2系統「引山」、「四軒家」方面ゆき
「徳川園新出来」停留所下車(所要時間約20分)徒歩約3分

【地下鉄】市営地下鉄名城線(右回り)「大曽根」駅下車
E5番出口より徒歩約15分

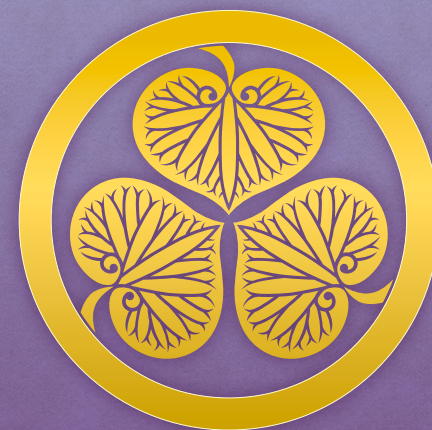


二〇二四年度ご案内

徳川美術館 名古屋市蓬左文庫 徳川園

尾張徳川家ゆかりの地

大名文化の真髄が体感できる



2024年 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 2025年 1月 2月 3月

3/26(火)~4/18(木) 4/19(金)~5/12(日) 5/14(火)~6/9(日) 6/11(火)~7/9(火) 7/10(水)~8/6(火) 8/7(水)~9/8(日) 9/10(火)~10/14(月・祝) 10/16(水)~11/15(金) 11/16(土)~12/15(日) 1/4(土)~1/28(火) 1/29(水)~2/26(水) 2/27(木)~3/23(日)

【第1展示室】名刀コレクション 【第5展示室】国宝 初音の調度 《1年を通じて順次数点ずつ公開します》



志野竹の子文筒茶碗 歌銘 玉川
(3/26~6/9)



国宝 初音時給萬物壺・萬物台
(5/14~7/9)



黄蜀葵園透赤銅鐸 銘 尾州住一光堂(印)
(6/11~9/8)



紅・白段簾に花の丸文唐織(9/10~10/14)

【特別公開】
国宝 源氏物語絵巻
関屋・絵合/竹河(二)
11/16(土)~11/24(日)



関屋



竹河(二)



狩野元信筆 布袋図(部分)三幅対の内
(1/4~1/28)

【特別公開】
千利休 泪の茶杓
2/22(土)~3/2(日)



竹茶杓 銘 泪

4/13(土)~6/2(日)

特別展

花咲い、風の吹くらん

咲き誇る花、花を散らす風…。人々は自然の風物を詩歌に詠み、心情を投影してきました。風や雨など変化に富んだ自然現象に注目して、古典文学や絵画・工芸にみられる風雅の世界を紹介します。



牡丹図屏風 八曲一双の内左隻

6/8(土)~7/21(日)

特別展 御霊屋改修記念

尾張徳川家と菩提寺建中寺

建中寺は尾張徳川家初代義直の供養のため2代光友によって創建され、以後、菩提寺として尊崇を集めました。尾張徳川家とともに歩んできた建中寺の歴史とともに、ゆかりの宝物を紹介します。



葵紋付黄金造飾太刀拵
(建中寺瑞龍院殿墓所発掘復元品)

7/27(土)~9/16(月・祝)

夏季特別展 もののふの備え

甲冑の美学

色彩豊かな威系で装飾された中世の大鎧、個性を競うかのような戦国の具足など、日本の甲冑は、身を守るという機能を追求しながら、華やかさも重視されました。甲冑の歴史と美しさを紹介します。



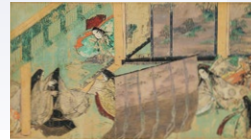
朱塗啄木系威具足 徳川義直
(尾張家初代)着用

9/22(日)~11/4(月・振休)

秋季特別展 みやびの世界

魅惑の源氏物語

紫式部が著した『源氏物語』は、千年にわたり読み継がれてきた古典の名作です。文学をはじめ、美術工芸や芸能に及ぼした『源氏物語』の文化史を紹介し、その魅力を紐解きます。



国宝 源氏物語絵巻 東屋(一)

4/13(土)~6/2(日)

企画展

人・ひと・ヒト 浮世絵の人と顔

浮世絵の歴史の中で中心的ジャンルを占めていたのは美人画と役者絵でした。人間が風物にまさる最大の関心事だったのです。誰を描くか、どう描くかなど、浮世絵の人物表現の諸相を紹介します。



月岡芳年画 雪月花の内月 市川三升 毛刺九右衛門

6/8(土)~7/21(日)

企画展

ハマる! 工芸

漆工品や金工品、焼物などの工芸品には、巧みな素材の組み合わせや卓越した技術が隠されています。「ハマる」をキーワードに、工芸品の様々な姿や秘密に迫り、その魅力にハマってください。



螺鈿梅花形樓閣人物図
食籠(部分)

馬とともに

武家社会において馬術は必須の嗜みであり、馬の気高い姿は称賛され美術の対象にもなりました。武士とともに生きた馬の魅力を、多様な作品を通して紹介します。



黒塗桐紋鞍・鍔 伊勢駿河守貞雅作 徳川家康所用

宮廷文化の華

和歌や物語などの古典文学や大陸伝来の雅楽や香料を調合して作られる薫物は、平安時代以降に宮廷のなかで育まれてきた文化です。宮廷で華開き、長らく伝えられてきた雅びの文化を紹介します。



舞楽図巻
(部分)

11/9(土)~12/15(日)

企画展

とんがり美術 ーキワだつ個性ー

独特の雰囲気や印象を発し、他とは一線を画する、個性豊かな作品たち。本展では、そんな個性豊かな作品たちを「とんがり美術」と総称し、それらが誕生した背景を追いかけてみます。



伝徳川家光(3代将軍)筆 鶏図 周東家寄贈

1/4(土)~1/26(日)

企画展

めでたきかな お正月

門松を立て、鏡餅を祝い、年の初めを祝うお正月は、現在に至るまで日本人の年中行事のなかで最も大切にされた営みです。日本のお正月のさまざまな「めでたい」アイテムや、その由来を紹介しながら年の初めを寿ぎます。

2/1(土)~4/2(水)

企画展

江戸絵画に新風が吹く

本草学の進歩や文学・芸術における復古思潮などを背景に、江戸時代後半は絵画史にも新たな変化が見られます。名古屋地域でも顕著な新潮流となった「長崎派」「南画」「復古やまと絵派」の作品を紹介します。



張月樵筆 雨中竹に鶏図
(部分)

4/6(土)~21(日)

春を謡う 徳川園牡丹祭



5/25(土)~6/9(日)

雨を聴く 徳川園の和傘



6/2(日)
徳川園 山車揃え



8/11(日・祝)~15(木) 夜間開園

夜に憩う 徳川園 夕涼み



9/18(水)・19(木) 夜間開園

月を掬う 徳川園観月会



10/20(日)
名古屋まつり
無料開園

11/3(日・祝)

徳川園開園記念日 無料開園



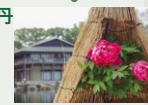
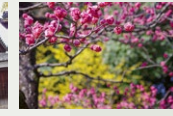
11/15(金)~12/8(日)
錦を纏う 徳川園 紅葉祭

12/13(金)~1/13(月・祝)

松を寿ぐ 徳川園のお正月



1/2(木)~2/16(日)
寒を遊ぶ 徳川園の冬牡丹



3/16(日)
徳川園起源の日
無料開園

名品コレクション展示室

徳川美術館 本館展示室

蓬左文庫展示室

徳川園